

MCT TTT レッスン設計書

名 称	MCT TTT in ISA
時 間	7時間×3日間 10:00~18:00 全21H
受 講 対 象 者	MCT 取得希望者
受講者の想定スキル	MCAS 担当するアプリケーションは合格済み ※トレーナー未経験者が多いと想定される
使 用 テ キ ス ト	日経BP社 プロフェッショナル・トレーナーへの道 エイチ・アール・ディー研究所、MOT コミュニティ共著
環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者は1人1台のPCを使い、講師用PCの画面をプロジェクターに投影する ・ホワイトボード設置 ・ビデオ収録のための機材設置 ・PCには2007Office System インストール済み ・ビデオ収録したデータを再生する環境あり
ス タ ッ フ	メイン講師1名
研 修 の 目 的	MCTに必要なトレーナーとしてのスキルを身につけ、研修の現場で実装できる ※該当するスキル基準は、CTT+における12のスキル評価標準（80%以上）に準拠
研 修 の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・MCTに必要なスキルを実務に実装する必要性が理解できる ・MCTに必要なスキルの基本を演習およびビデオ収録の中で実践できる ※該当するスキル基準は、CTT+における12のスキル評価標準（80%以上）に準拠
最 終 評 価	3日間通して学習した内容を盛り込んだ詳細プランの作成と20分間のビデオ収録ができ、実務への実装の必要性を理解したことで評価とする
1 日 目 の 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の目的と目標を理解し、MCTとしての役割が理解できる ・プレゼンテーションスキルを理解し、演習で実装することができる ・デモンストレーションスキルを理解し、ビデオ撮影（5分）の準備まで行うことができる 	
オリエンテーション 10:00-10:15	<ul style="list-style-type: none"> ・講師自己紹介、会場説明、全体および1日目のタイムスケジュールなど ・研修の目的と目標の確認
講 義 と 演 習 10:15-13:00	Point <ul style="list-style-type: none"> ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・序章および第1~2章のポイントについて発問を交えながら説明し、演習への実装を意識づける 序章：テキストの使い方、用語など 第1章：トレーナーの役割（受講者自己紹介を含む） 第2章：プレゼンテーション~正しく伝え、理解・納得を得る
昼食 13:00-14:00 (60分)	
講 義 と 演 習 14:00-18:00	Point <ul style="list-style-type: none"> ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・第2~3章のポイントについて発問を交えながら説明し、2日目の実演への準備を行う 第2章：プレゼンテーション~正しく伝え、理解・納得を得る 第3章：【実践演習】SFBによる説明と実演（準備まで） ※明日までの準備の説明を含む

2 日 目 の 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・1日目に学習したスキルを、ビデオ撮影（5分）で実装することができる ・インストラクションおよびファシリテーションスキルを理解し、演習で実装することができる ・コース設計から詳細プランまでの研修設計について理解し、詳細プランを作成できる 	
オリエンテーション 10:00-10:15	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の目的と目標の再確認 ・2日目のタイムスケジュール
講義と演習 10:15-13:00	<p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・第4~5章のポイントについて発問を交えながら説明し、演習への実装を意識づける <p>第4章：インストラクション～興味を引き、“できる”をサポートする 第5章：ファシリテーション～励ましとグループシナジーの活用</p>
昼食 13:00-14:00 (60分)	
講義と演習 14:00-18:00	<p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・第6~7章のポイントについて発問を交えながら説明し、3日目のビデオ収録への準備を行う <p>第6章：コースの設計 第7章：【実践演習】安心感の提供と“We can”サポート ※明日までの準備の説明を含む</p>
3 日 目 の 目 標	
<ul style="list-style-type: none"> ・2日間の学習内容をもとに、20分間の模擬授業を行うことができる ・模擬授業のレビューを自己・他受講者・講師で行い、良かった点と改善点を把握できる ・実務への実装の必要性を理解できる 	
オリエンテーション 10:00-10:15	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の目的と目標の再確認 ・3日目のタイムスケジュール
講義と演習 10:15-11:00	<p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・第8章のポイントについて発問を交えながら説明し、実務への実装を意識づける <p>第8章：プロフェッショナル・トレーナーへの道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース準備から開催までの流れ（総括） ・コンプライアンス（時間がなければ概要のみ）
ビデオ収録 11:00-13:00	<p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル評価基準のポイントを意識してレビューする ・実務への実装を意識づける <p>第7章：【実践演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ収録とレビュー
昼食 13:00-14:00 (60分)	
ビデオ収録 14:00-18:00	<p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル評価基準のポイントを意識してレビューする ・実務への実装を意識づける <p>第7章：【実践演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ収録とレビュー <p>●研修全体のまとめ</p>

※受講者人数およびスキルによって、時間配分は変更となる場合があります